

信書便事業者協会

臨時総会で一般社団法人化を承認

来年1月4日に移行予定、「さらに責任ある立場で周知活動を」と高橋会長



信書便事業者協会(会長〓高橋泉・KSGインターナショナル代表取締役)は9日、都内で臨時総会を開催し、一般社団法人への移行を全会一致で承認した。一般社団法人への移行は来年1月4日の予定。

向けの周知活動などにさらに責任ある立場で応えていくためにも一般社団法人化が必要」と運営体制強化の必要性に言及した。

続いて法人設立準備委員会の委員長を務めた小野耕全役員が、法人化の目的とこれまでの経過報告を行ったのち、議案の審議を行い、全会一致で法人化を承認した。

臨時総会終了後には執行部が会見し、一般社団法人への移行承認について高橋会長は「これからは協会として行政などに対する働きかけを強めていけることを嬉しく思う。例えば、参入に関する申請文書についても全国共通ではなく、地方ごとに違う。これを協会として統一したフォーマットをつくることでできれば会員事業者に喜んでいただける」と述べた。また、小野役員は「法人化そのものを目的とせず、エンドユーザーや事業者のために協会が機能していく手段としての法人化でなければならぬ。業界やコンシューマーの意見を集約できる体制をつくり、所管する総務省とのパイプづくりを強化したい」としたほか、現在70数社の会員増強についても「法人化をフックにしてアピールや募集活動を強化していく」と語った。

臨時総会の冒頭、挨拶に立った高橋会長(写真)は「昨年9月に発足した当協会も無事1周年を迎えることができた。現在、協会としての機構の整備や周知活動に取り組んでいるが、今年3月の通常総会で一般社団法人への移行準備を進めることをお約束した」と述べ、「特定信書便事業の事業規模は100億円に達しようとしているが、まだまだ消費者の馴染みが薄く、信書の分類が分かりにくいとの声がある。それが市場拡大のブレーキになる懸念もある。一般

Twitterで「物流」のつぶやきを開始しました!!

アカウントはcargo NEWSです。